

報告会で出された意見への検討会としての対応について

番号	報告会での主な意見	対応策
1	やくの高原市の改修は、改修期間中もやくの高原市を利用できるようにしてほしい	施設整備の際に考慮するよう伝える。
2	農産物の加工所を整備してほしい	市に対して、地域の意見として対応の検討を求める。
3	検討会で出された意見の中でコンビニの誘致や、そば打ち体験は実現してほしい	本施設は、「様々な体験ができる場を提供すること」として事業者を募集する予定。公募の過程で地域の意見として伝えるよう求める。
4	行政だけでなく地域住民も一体となって取り組みをしないとイケない（地域全体がよくなるために色々な人に協力してもらうことが必要）	検討委員からも同じ内容の意見をいただいております、報告書本文P. 14に記載している。
5	温泉は人が少なくてゆっくり入ることができて良かった。何か売りをつくって規模を小さくしてでも再開してほしい	過去の経営状況から事業の経済性や継続性を考え、現在の温浴施設については別用途の利活用を図ることとし、温泉水は違う形で活用する方針としている。
6	外から人を呼び込むことよりも地元の方がもっと集まりやすいような場にしてほしい	検討委員が取りまとめた地域住民の意見にも同様の趣旨の意見があり、公募の過程で地域の意見として伝えるよう求める。
7	施設を再開するだけでなく朝来市との連携など広域的に検討する必要がある	
8	今後事業者を募集するときには、施設全体を一括して募集するのではなく、施設ごと分割で募集をかけた方が応募してもらえる可能性が高いのではないか	事業者へのサウンディングの際には施設全体を活用する案もあったため、施設全体を活用するか、一部を活用するかは来年度に改めて事業者へのサウンディングを行う中の判断となる。
9	施設全体を同時期に再開させるのではなく、できるところから段階的に再開してほしい。また、施設全体の再開とは別にトイレの整備等、道の駅としての整備は急いでほしい	施設整備の工程については、活用事業者となった事業者と協議のうえ決定していくよう求める。
10	施設が再開した後も事業者の経営状況をチェックしてほしい	施設利用者数等については活用事業者に情報共有を求めるよう伝える。
11	国道の交通量が減っているが、交通量に左右されない魅力ある施設として再開してほしい	現在の交通環境を前提として持続性・経済性の面を考慮し活用方針を取りまとめた。
12	しっかりとPRもして行ってほしい	市、地域、活用事業者が協力してPRしていくよう求める。